

【プレスリリース】

2026年4月14日

報道関係各位

**4K 液晶テレビ 2026年ラインナップ全6モデルを
4月中旬より順次発売**

～大画面が身近になる液晶テレビエントリーモデルが新登場～

LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社(代表取締役:孫 成周(ソン・ソンジュウ) 本社:東京都中央区)は、2026年の4K液晶テレビラインナップとして、85インチから43インチの豊富なサイズを取り揃えた全6モデルを、販路限定で2026年4月中旬より順次発売します。

今年の4K液晶テレビは、AIプロセッサー「α7 AI Processor Gen9」を搭載しており、地上波でもネット動画でも、リアルタイムで明るさやコントラスト、ディテールを最適化し、鮮明かつ立体的に映し出します。また、サウンド面でも、AIが2chオーディオを臨場感あふれるバーチャル9.1.2ch相当のサウンドに変換し、より空間的なサラウンド効果を提供。映像への没入感を高めます。

また、LG独自OSの「webOS」を搭載しているため、YouTubeやNetflix、TVerなど、お客様の“観たい”に応える幅広いジャンルのストリーミングコンテンツを楽しむことができます。コンテンツ視聴時は、制作者の意図通りの画質をそのまま再現する「FILMMAKER MODE™」も搭載。自宅で本格的な映画鑑賞を実現します。



85インチ 4K液晶テレビ「85NU850BPJA」

<発売概要>

型番	画素数/ パネル	型	価格(予想実売価格・税込)	発売予定日
85NU850BPJA	4K/ LG UHD TV	85	オープン価格(200,000円前後)	5月下旬より 順次
75NU850BPJA		75	オープン価格(152,000円前後)	5月中旬より 順次
65NU850BPJA		65	オープン価格(110,000円前後)	4月中旬より 順次
55NU850BPJA		55	オープン価格(88,000円前後)	
50NU850BPJA		50	オープン価格(77,000円前後)	
43NU850BPJA		43	オープン価格(67,000円前後)	

【主な特長】

■独自のリアルタイム AI プロセッサー「α7 AI Processor Gen9」を搭載

テレビの心臓部とも言える映像エンジンには、演算処理と映像処理を強化した AI プロセッサー「α7 AI Processor Gen9」を搭載。世界中の映像データを学習した AI が、あらゆるジャンルの映像をリアルタイムで分析し、画質とサウンドを最適化します。



<AI 映像プロ> (※1)

さまざまな映像ジャンルを AI が自動認識し、最適な画質に変換。人の肌を自然なトーンにし、解像感のあるクリアな映像にします。

(※1) AI 映像プロは、各種 VOD サービスの著作権保護がかかったコンテンツには適用されません。

<4K アップスケーリング>

低解像度の映像を 4K にアップスケーリング。フレーム単位で緻密なアップスケーリング処理を行い、低解像度の映像をより高精細な 4K 画質に変換します。

<AI サウンドプロ>

2ch オーディオも、AI が臨場感あふれるバーチャル 9.1.2ch の立体的なサウンドに変換し、より空間的なサラウンド効果を提供。映像への没入感を高めます。

■コンテンツや好みに合わせて最適な映像表示が可能

<FILMMAKER MODE™>

「FILMMAKER MODE™」は、映像補正やフレーム数の補完をオフにすることで、映画制作者の意図通りの映像で楽しむことができます。

<HDR10 Pro>

LG の独自 HDR 拡張技術「HDR10 Pro」は、本来は単一の輝度データしかもたない HDR10 や HLG の HDR フォーマットをフレーム単位で解析・調整する機能で、より鮮やかでリアリティあふれる映像に仕上げます。

■映画やドラマなど多彩なコンテンツを提供する「webOS」

LG 独自の「webOS」を採用しているため、YouTube や Netflix、TVer などの国内外 600 以上の VOD アプリを通じて、お客様の「観たい」に応える幅広いジャンルのストリーミングコンテンツをお楽しみいただけます。また、5 年間 webOS を無償でアップデートいただけるため、ご自宅でソフトウェアを更新するだけで最新の OS をお使いいただけます。(※2)

(※2) 5 年間で計 4 回の OS アップデートを保証します。アップデートのタイミングは年ごとに変更になる場合があり、アップデート内容はモデルや国により異なります。

■大画面でゲームを楽しめる

「webOS」は、クラウドゲーミング（「Xbox」や「GeForce NOW」）にも対応しているため、テレビにゲームパッドを繋ぐだけでゲームを楽しむことができます。VRR（可変リフレッシュレート）に対応し、ティアリング（画面のズレ）やカクつきを低減しながらの表示が可能のため、大画面でのゲームプレイもお楽しみいただけます。さらに、Bluetooth Ultra Low Latencyに対応。Bluetoothコントローラーの入力遅延を、わずか1,000分の2.5秒未満に抑えます。クラウドゲーミングでも、有線接続のゲームパッドのような、よりリアルタイムな操作で楽しめます。

■老若男女が使いやすいユーザビリティ

<AI 音声 ID>

別売のマジックリモコンやスマートフォンアプリ「LG ThinQ」を使って話しかけるだけで、自身のLGアカウントに自動で切り替わります。ログイン情報を入力しなおす手間がなくなり、スムーズに最適化された視聴環境にアクセスできます。

<AI チャットボット>

操作が分からなかったり不具合が発生したりした場合には、テレビメニューから「AI チャットボット」を選択し相談するだけで、操作をガイドしたり診断プログラムへご案内します。カスタマーセンターへ連絡する前に、あらかじめ診断を行うことで、ご相談もスムーズになります。

<マルチ AI サーチ>

「Google Gemini」と「Microsoft Copilot」に対応。例えば、テレビで知った観光地や飲食店などのより詳しい情報やアドバイスなど、気になることをAIがすぐに答えてくれます。

■安心して長く使えるサポート体制

当社のサポート窓口では、電話・メール・LINE・チャットボットを通じて、お客様からのお問い合わせを受け付けています。さらに、日本全国に約70拠点の修理ネットワークを構築しており、東京23区内の場合は、テレビ製品を含むすべてのLG製品の修理対応が72時間以内に完了するなど、^(※3)万全のサポート体制を通じて、製品ご購入後も充実したカスタマーサービスを提供しています。

(※3) 東京23区内の場合でも、部品供給状況などにより、72時間以内に対応できない場合があります。

■やさしさに溢れるテレビを目指して

多様な色覚特性に合わせて配色を最適化する機能^(※4)や、対応する人工内耳と接続して音声をよりクリアにお届けする機能^(※5)、そして目への負担を軽減するブルーライト低減機能^(※6)などを搭載しています。LG エレクトロニクスは、より多くのお客様が快適に製品をお使いいただけるよう、多様なニーズに寄り添ったアクセシビリティ機能を提供します。

(※4) 色覚を調整する機能は、すべての方が見えることを保証するものではありません。

(※5) LE Audio 対応かつ機器として対応する人工内耳に接続が必要です。

(※6) ブルーライトの症状は一般的な説であり、科学的な根拠に基づくものではありません。

※本仕様は予告なく変更される場合があります

※画像はすべてイメージです

※本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です

■ブランドスローガン「Life's Good」に込めた想い

「Life's Good」という LG エレクトロニクスのブランドスローガンは、消費者のニーズが多様化する中、より良い生活のため「世界中のお客様をワクワクさせ、感動を提供する」という想いを象徴的に表現しています。LG エレクトロニクスはこのスローガンのもと、革新的なスマートソリューションを通じた「Innovation for a Better Life」というミッションを掲げ、主役であるお客様の日常をより豊かに、より健やかに、より創造的なひとときを堪能する喜びをもたらしてまいります。また、持続可能な社会の実現に向け、循環型社会の構築に着手しています。2030 年までに、二酸化炭素排出量を 50%削減(2017 年比)し、2050 年までに再生可能エネルギーに完全移行することを公約とし、炭素排出量の削減や環境に配慮したエコプロダクト設計の製品を通して、国際的な責任を果たしてまいります。

■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階
U R L: <https://www.lg.com/jp/>
設 立: 1981 年 1 月
代 表 者: 代表取締役 孫 成周(ソン・ソンジュウ)
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。
テレビ、モニター、ノートパソコン、ホームプロジェクター、衣類ケア家電、空気清浄機、衣類乾燥除湿器の販売、デジタルサイネージ事業、車載用機器やソリューション事業等。

■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、家電をはじめとするテクノロジーのグローバルイノベーターとして、世界中に事業拠点をもち、約 74,000 人以上の従業員を擁しています。「ホーム・アプライアンス・ソリューション」、「メディア・エンターテインメント・ソリューション」、「ビークル・ソリューション」、「エコ・ソリューション」の 4 カンパニー制で、2025 年の世界売上高は約 89.2 兆ウォン(KRW)。テレビ、生活家電、エア・ソリューション、モニター、車載用機器やソリューションにいたるまで、消費者および業務用製品を製造する世界有数の総合家電ブランドとして、お客様の生活を Life's Good にするための提案をし続けています。